

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子

中村たけとし

小林えみ子

☎(752)0453

☎(409)5475

☎(482)5451

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

TEL(483)1151

利用しやすい勝田台駅・大和田駅を求め質問

日本共産党八千代市議団は、長年の地域からの要望である「勝田台駅南口にエレベーター設置」「大和田駅北側改札口の常時開放」について、6月定例市議会で「市の見解と今後の計画」について質問をしました。

しかし、市長が3月20日に京成電鉄に、「これらの要望書を出したが具体的な計画は今のところない」との見通しのない答弁にとどまっています。

地域住民の要望は、エレベーターの設置が早期に実現できないなら「代わりとなる対策をかんがえてほしい」と、応急措置的な対応でもいので「京成電鉄との話し合いの場を設けてほしい」と日本共産党に要望が寄せられました。



京成電鉄に要望書提出、市民も交渉に参加！

一般質問の後、6月14日京成電鉄の本社にて要望書を提出、京成電鉄の考えを聞きました。しかし、答えは「勝田台駅南口のエスカレーター設置の計画はない。理由は2020年（H32年）までに行うバリアフリー法によって、エレベーターが1基もついている駅が7つあり、北口に1基ある勝田台は計画対象外」「大和田駅北側改札口の常時開放は人件費の負担増から計画はない」と、市議会でも過去に陳情で採択された問題でもあるのに、計画が全くされていないことに、同席していた市民は怒りをあらわにして訴えました。

市と京成電鉄の歩み寄りで解決の道を

1日の乗降客数が5万4千人を超える勝田台駅は、北口から南口までの地下通路は勝田台小学校の通学路の一つとなっています。

朝・夕の混雑のなか、子どもたちは駅利用者の方々の間を縫って登下校します。万一この子どもたちの誰かが足をけがした場合、帰宅時は南口の上りエスカレーターを一度下りに切り替えなければ降りられません。

乗降客数が多い勝田台駅では「大人でも駅員さんに頼んで変更してもらうのは気が引ける」との声があります。ベビーカーや車いすの方も同様のご意見がありました。

また、京成大和田駅では南口の開発により、北側に住んでいる住民は上り電車を利用するには、以前より40メートル改札口が遠くなってしまいました。北口が常時開放されていれば、狭くて危ない踏切を渡る必要もありません。

市が指定した通学路、また市の計画によって改札口が遠くなったことから、市が財政面での負担をすることで早期解決の見通しができるのではないのでしょうか。

市と京成電鉄の共同で早期に実現できるよう日本共産党も奮闘します。